

# 三小だより

# 9月号

## しっかり考えて行動できる子を育てたい

校長 藤本 賀津雄

静かだった学校に、子どもたちの元気な声に戻ってきました。それぞれの夏を過ごした子どもたちが一斉に登校し、今日からいよいよ学習の始まりです。どの子も「早寝・早起き・朝ごはん」の日常生活のリズムを早く取り戻し、力いっぱい勉強や運動に頑張ってもらいたいと思います。まだまだ厳しい残暑が続きます。当分の間、水筒やタオルは毎日持たせるなど、子どもたちの体調管理をよろしくをお願いします。

さて、去る8月25日、大阪狭山市内のすべての中学校生徒会、小学校児童会の代表の子どもたちが市役所で一堂に集まって、児童・生徒会交流会が開かれました。自己紹介や学校紹介の後、ワークショップ形式でのスマートフォン等についての話し合いをしました。本校からは6年生の横山さん、三枝さん、塚田さんの三人が代表で参加してくれました。三人ともしっかり話し、自分の考えも出せており、南三小の代表としてよく頑張ってくれました。交流会では7つの均等なグループに分かれました。テーマは「スマートフォン等の良い点と悪い点、今後の活用について」でした。それぞれのグループでは、中学生がリーダーシップを発揮して話し合いなどの活動が行われ、最後には模造紙にまとめたものをグループごとに発表しました。

スマートフォン等の良い点や悪い点はいくつもありますが、正しく使えば便利なものであるし、使い方によっては様々な弊害も出てきます。結局、使う人がメリットやデメリットをしっかりわかった上で、賢く使いこなすことが大事ですねという結論になったようです。そのためにはどうしたらいいかという具体策はグループでいろいろ出ました。交流会の詳しい具体的な内容については、後日学校ごとに報告されると思います。

私はこの交流会の様子を見ていてたいへん感動しました。各グループに大学生のサポーターがついて支援してくれたからかも知れませんが、中学生がリードして小学生の考えをうまく引き出し、メンバー全員が真剣に考えてアイデアを述べ合う姿は素晴らしかったです。この子どもたちがいる限り大阪狭山市の未来は明るいと感じたのは決して私一人ではなかったと思います。

子どもたちは我々大人が考えている以上に素晴らしい能力を持っています。その能力をどのようにして引き出してやるのかが私たち大人の責務ではないでしょうか。スマートフォン等に限らず、何のために勉強するの？本当の親友ってどんな友達？いじめが起こらないようにするには？等々、いろいろなことを自分の問題として受け止め考えられる子どもを育てたいと思います。特に高学年ではしっかりした考えのもと、自分の行動に責任を持って頑張る子を育てたいと思います。

